

地域活性化ワークショップ

第3回「地域金融機関による地域商社の取組みと将来展望」

論点整理

2021年3月5日(金)

日本銀行 金融機構局 金融高度化センター

中村 伊知雄

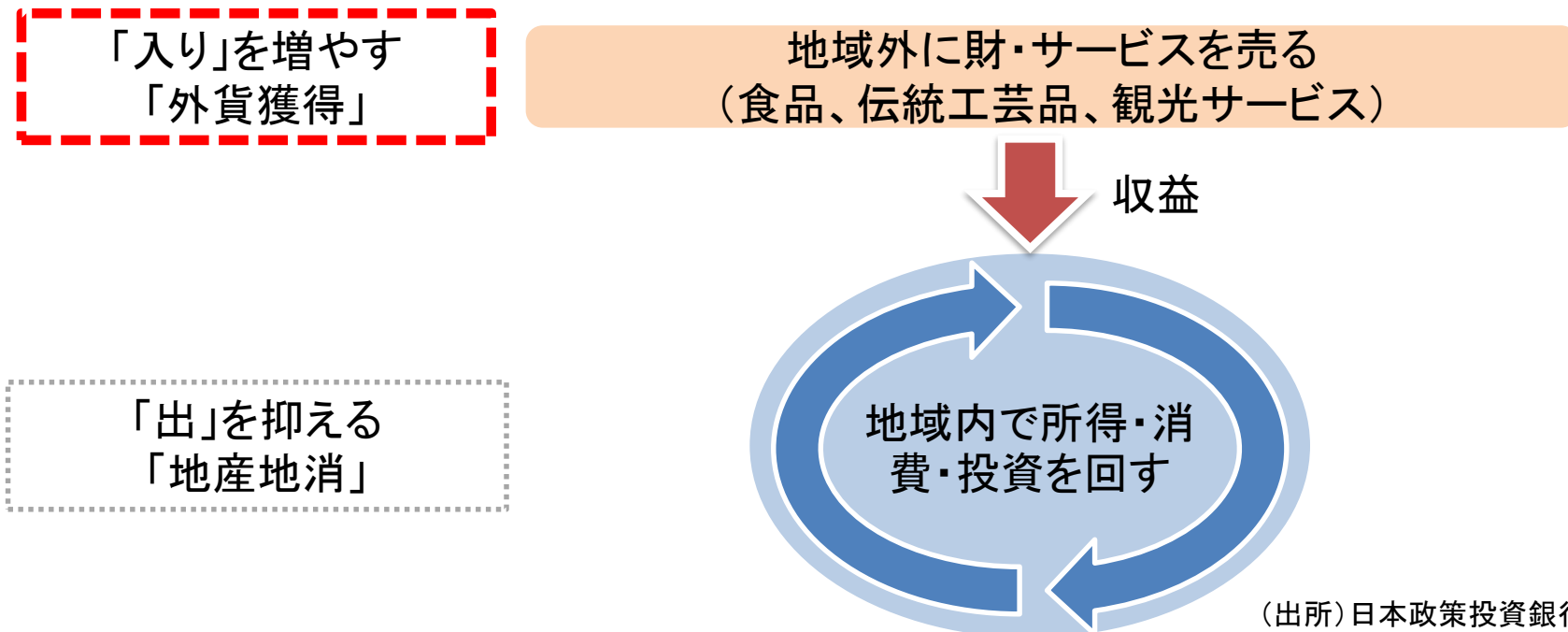


Bank of Japan



1. 地域商社とは ～地域経済の現状と打開策～

- 多くの地域は、人口減少→総需要の減少→事業者の減少→雇用機会の減少→人口減少という経済の縮小均衡状態(「負のスパイラル」)に陥っている。
- こうした状況を打開する方法の一つとして、食品や伝統工芸品、観光サービスなどの地域産品を地域外に販売することで「入りを増やす」方法が考えられる。



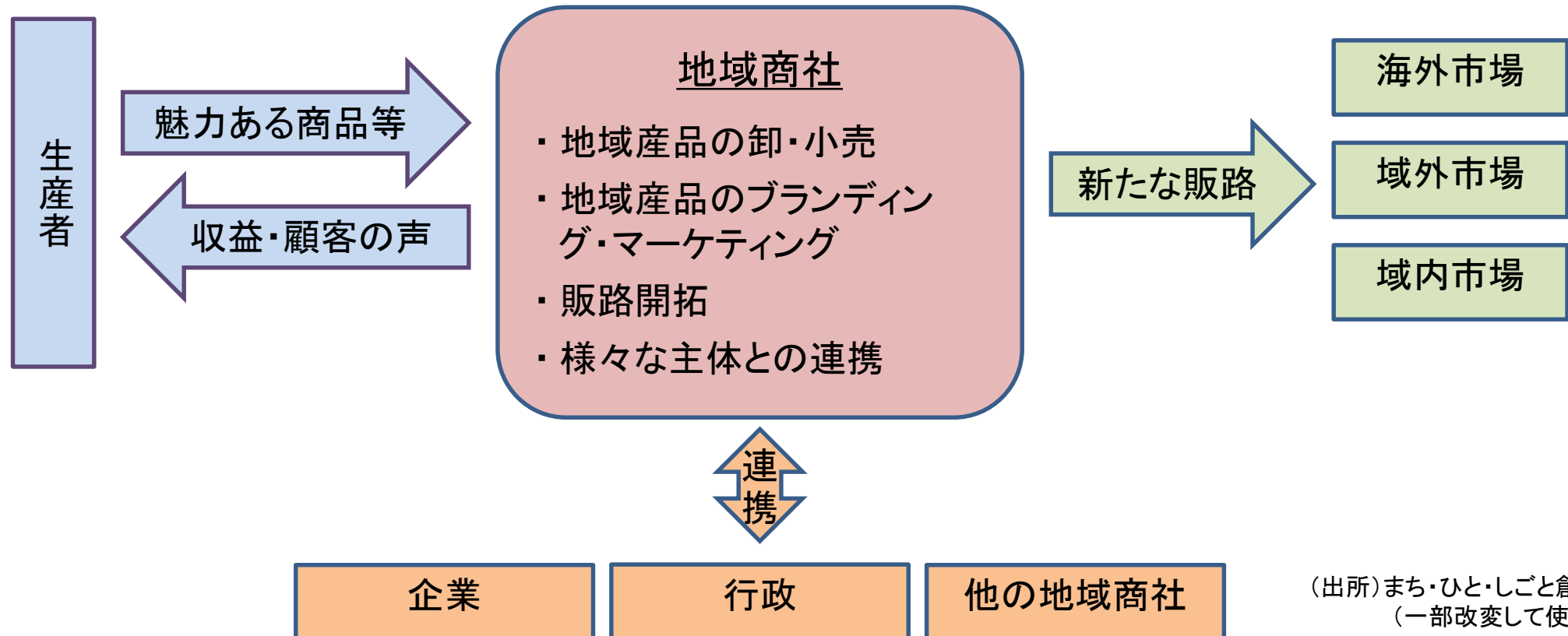


1. 地域商社とは ～いかにして競争力を高めるか～

- もっとも、地域産品を巡る競争は激しい...
 - そこで、地域産品の販売に加え、地域産品の競争力の強化、すなわちブランディング・マーケティング、及び販路開拓も併せて行う必要がでてくる。
 - また、こうした活動を行うためには、様々な主体を巻き込んだ連携も必要。
- 但し、こうした機能を、地方の生産者が単独で担うことは困難...

1. 地域商社とは ～地域商社の活用～

- そこで、生産者に成り代わり、地域産品の卸・小売を行いつつ、ブランディング・マーケティング、販路開拓も行い、併せて連携の核となる地域商社の活用が考えられる。



(出所) まち・ひと・しごと創生本部
(一部改変して使用)

2. 地域商社と地域金融機関

～地域商社運営において生きる地域金融機関の強み～

- 地域商社の運営においては、地域金融機関がもっている信用力、情報、ネットワーク、人材が役立つ。

高い
信用力

豊富な
情報

広範な
ネットワーク

優秀な
人材

2. 地域商社と地域金融機関

～地域商社活用のメリット～

- 地域金融機関にとっても、自らの事業基盤である地域経済が、持続的に発展していくことが重要である。
- 経済の持続的な発展のために、取引先の「稼ぐ力」を強化し、縮小均衡状態、すなわち「負のスパイラル」に歯止めをかけるためには、上述のような機能を担う地域商社の活用が有効。

▽ 地域金融機関にとっての地域商社活用のメリット

地域商社からの収益が期待できるといった直接的なメリットに加え、地域商社を通じて地域経済の活性化が図られ、ビジネスチャンスが創出される。

金融面だけでなく、商流に直接関与することで、コストカット等だけでなく、売上の増加に関与するインセンティブが強まる。

金融機関の経営面でも、地域商社への関与を通じて、金融機関自身のカルチャーの変革を促すことができる。

2. 地域商社と地域金融機関

～地域金融機関が地域商社に取り組みやすい環境の整備～

- この間、地域金融機関が地域商社の設立・支援に取り組みやすい環境の整備も進んでいる。

(1) 2019年・金融庁「監督指針」の改正

- 当局認可の下、基準を超える議決権の保有を認める銀行業高度化等会社に地域商社も該当する旨が、金融庁「監督指針」に明記された。

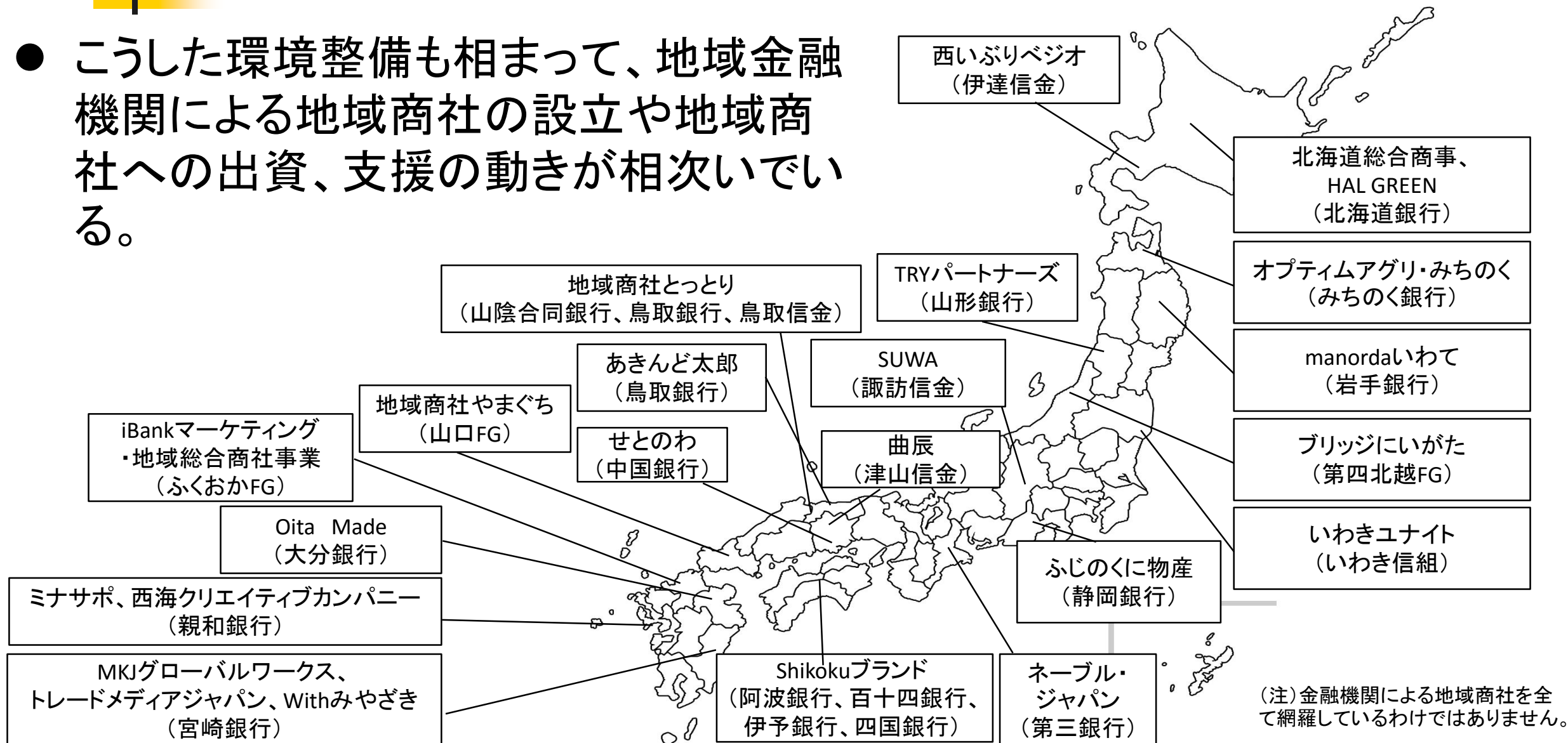
(2) 2020年・金融庁「銀行制度等ワーキング・グループ報告」

- 認可要件の大幅な緩和を提言。
- 認可制であった銀行業高度化等会社の設立について、銀行の兄弟会社に限り、銀行グループの財務健全性やガバナンスが十分と認められた場合には届出制を導入することを提言。
- 信用金庫と信用組合の議決権保有制限を緩和し、一定の条件を満たす地域商社を高度化等会社の枠組みで子会社として保有できるよう提言。

2. 地域商社と地域金融機関

～広がる地域商社の設立や支援、出資の動き～

● こうした環境整備も相まって、地域金融機関による地域商社の設立や地域商社への出資、支援の動きが相次いでいる。



(注)金融機関による地域商社を全て網羅しているわけではありません。

3. 本日のディスカッションの論点 ～ディスカッション I～

- ただし、地域金融機関による地域商社の取組みが進む中で、地域商社の運営面での課題も明らかになってきた。
- 足もとにおける地域商社運営上の最大の課題は、収益の確保である。
- よって本日は、まずディスカッション I にて、地域商社がいかにして収益を確保していくかに関して、いくつかの論点を取り上げて議論を行う。

(論点①)ブランディング・マーケティングについて

(論点②)規模の確保(スケール化)について

(論点③)人材の確保・育成について

3. 本日のディスカッションの論点 ～ディスカッションⅡ～

- 一方、後半のディスカッションⅡでは、地域金融機関による地域商社活用の将来像や金融機関のカルチャーを巡る論点について議論を行う。

(論点①) 地域商社活用の将来展望

- ・ 現在の地域商社の機能をより拡張させ、様々な地域課題に対応できる多様な機能をもった地域商社への展望を議論。
- ・ 現在の地域商社の機能をより深化させ、例えば出資等を通じて企業の増加収益(アップフロント)への関与や企業再編を行う機能を有する地域商社への展望を議論。

(論点②) 金融機関のカルチャーと地域商社



ご清聴ありがとうございました。

【本資料に関する照会先】

日本銀行 金融機構局 金融高度化センター

中村 伊知雄 電話 03-3277-3081

ichio.nakamura@boj.or.jp

- 本資料の内容や意見は、執筆者個人に属し、日本銀行の公式見解を示すものではありません。
- 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め日本銀行金融機構局金融高度化センターまでご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、日本銀行は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。